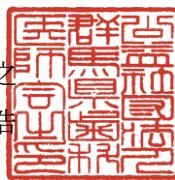


会員各位

公益社団法人群馬県歯科医師会  
会長 村山利之  
学術担当理事 高井貞浩  
(公印刷込)



令和7年度群馬県歯科医師会学術講演会のご案内  
『人生100年時代に求められる歯科医療人とは』

初冬の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて近年、「睡眠」の質が全身の健康を左右する重要なテーマとして注目される中、睡眠時無呼吸症候群は歯科臨床においても相談機会が増え、歯科が担う役割への期待が高まっております。睡眠時無呼吸症候群は「いびき」「日中の強い眠気」などの症状を契機に気づかれることが多く、高血圧・心血管疾患等との関連も指摘されるなど、医科歯科連携の重要性が増しています。スクリーニング、医科紹介の判断や口腔内装置治療など、“明日からの診療”に直結する場面は多い一方で、臨床での取り入れ方や判断に迷いを感じておられる先生方も少なくないのではないでしょうか。

そこで今回、当該分野に精通する2名の先生をお迎えし、睡眠時無呼吸症候群の基本整理から、歯科が担う役割、診療導入のポイント、医科紹介・連携の実際までを分かりやすくご講演いただきます。本講演によって示される『これから必要とされる歯科医師像』は、先生方の日常臨床のスキルアップにも必ずお役立ていただけると考えております。つきましては、多数の皆様方のご参加をお待ち申し上げております。

※本研修会は、日本歯科医師会生涯研修単位を取得できます。

※日本歯科衛生士会研修取得単位は、申請中です。

記

日 時：令和8年3月8日（日）午前10時00分～13時00分

場 所：群馬県歯科医師会館 4階第2会議室

講演演題①：『地域で診る睡眠時無呼吸—病態・検査・診断、そして連携—』

講 師①：日本赤十字社前橋赤十字病院 呼吸器内科 部長 堀江 健夫 先生

講演演題②：『閉塞性睡眠時無呼吸（成人）における歯科医師の役割と医療連携』

講 師②：国際医療福祉大学医学部 歯科・口腔外科学 准教授 佐藤 一道 先生

【申込フォーム】※締め切りは3月2日（月）、17時まで

URL: <https://forms.gle/4aGTdc2te7iM93p69>

QRコード：



裏面参照

# 令和7年度群馬県歯科医師会学術講演会

## 【講演演題①】

「地域で診る睡眠時無呼吸 —病態・検査・診断、そして連携—」

## 【講演要旨①】

閉塞型睡眠時無呼吸（OSA）は、いびきや日中の眠気にとどまらず、生活の質低下や安全面の問題、併存疾患の悪化など多面的な影響を与える疾患です。わが国では中等症以上のOSA患者が約900万人と推定され、潜在患者も多いことから、早期の気づき（スクリーニング）と適切な治療導入のためには、日常診療で患者と継続的に接点を持つ歯科における医科受診・紹介への導線づくりが重要です。

本講演では、OSA診療の全体像（診断・重症度評価・治療選択）を概説し、簡易検査と終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）の使い分け、成人の境界例で治療に結びつけるための判断ポイントを整理します。あわせて小児のいびき・口呼吸など睡眠関連呼吸障害の見逃しやすいサインにも触れ、医科からみた口腔内装具（OA）の最近のエビデンス、適応判断・効果判定・フォローの要点、ならびに医科紹介のポイントを共有したいと思います。本講演が県内のOSA患者さんに対する医科歯科連携推進の一助となれば幸いです。

## 【講師略歴①】

堀江 健夫（ほりえ たけお）

日本赤十字社前橋赤十字病院 呼吸器内科部長

1992年 群馬大学医学部卒業、群馬大学第一内科入局

1998年 群馬大学医学研究科博士課程修了、米国ペンシルバニア大学医学部研究員

2001年 上武呼吸器科内科病院

2002年 前橋赤十字病院呼吸器内科副部長

2022年 前橋赤十字病院呼吸器内科部長

## 【学会等活動①】

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会理事

日本内科学会 総合内科専門医/指導医

日本呼吸器学会 指導医

COPDガイドライン第4~7版作成委員

日本アレルギー学会 専門医

喘息診療ガイドライン2013~2024作成委員

日本睡眠学会、AARC、ATS、ERS会員

NPO法人 日本呼吸器障害者情報センター（J-BREAH）顧問

内科系社会保険連合（内保連）委員

## 【講演演題②】

「閉塞性睡眠時無呼吸（成人）における歯科医師の役割と医療連携」

## 【講演要旨②】

保険診療で用いられる疾患名「睡眠時無呼吸症候群」は、国際分類では閉塞性睡眠時無呼吸（obstructive sleep apnea : OSA）と表記されます。本講演では、成人 OSA を対象とした内容を取り上げます。

2004 年より、OSA に対する口腔内装置（oral appliance : OA）が歯科保険診療として算定可能となりました。OA 治療は医師からの診療情報提供書を基に開始される仕組みで、皆様も作製経験があるかもしれません。

しかし、OA はすべての患者に有効と限らず、歯や頸関節に負担をかけるものです。また継続的な経過観察が不可欠です。治療開始時には、これら 3 点を患者に適切に説明することが重要です。また、OA の効果判定は睡眠検査によって行われるべきであり、そのためにも作製後の医科との緊密な連携が求められます。

本講演では、医科との連携を前提とした OA 治療の流れと作製概要を解説するとともに、OSA の病態における歯科領域の関与についても触れたいと思います。

## 【講師略歴②】

佐藤 一道（さとう かずみち）

国際医療福祉大学医学部 歯科・口腔外科学 准教授

1998 年 東京歯科大学卒業

2002 年 東京歯科大学大学院 歯学研究科（オーラルメディシン学専攻）修了

2004 年 東京歯科大学オーラルメディシン講座 助手

2008 年 東京歯科大学口腔がんセンター 助教

2010 年 東京歯科大学口腔がんセンター 講師

2016 年 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 准教授

2020 年 国際医療福祉大学医学部 歯科・口腔外科学 准教授

## 【学会等活動②】

日本睡眠学会：評議員、歯科専門医

日本睡眠歯科学会：理事・評議員、指導医・認定医

日本口腔外科学会：代議員、指導医・専門医

日本口腔診断学会：理事・代議員、指導医・認定医

日本口腔顔面痛学会：評議員、指導医・専門医

日本口腔内科学会：指導医・専門医

日本がん治療認定医機構 認定医（歯科口腔外科）